

(議長)

次に、西海谷議員の発言を許可致します。

(議長)

西海谷議員。

「西海谷議員」

えー私の方から、あー今定例会、2問のご質問させていただきます。

えー1問目、ふるさと納税についてでございます。

えー先月、8月の2日、えー総務省から道南の各自治体2023年度ふるさと納税寄附金額が発表されたところでございます。えーその中で、江差町は昨年の1億2,977万円と比べ、本年約70%増の2億1,837万円と大きく増額となりました。

これは、返礼品業者を始め、町担当者に、本当に大変頑張っていると高く評価し、今後とも期待しているところでございますが、えーこれからまだまだ、寄附額上位の自治体と比べると、まだまだ返礼品の充実、また、工夫が必要と考えております。

更なる増額を目指すために、どのような検討を進められているのかお聞き致します。

「町長」

議長。

(議長)

町長。

「町長」

西海谷議員の1問目、ふるさと納税につい、ふるさと納税についてのご質問にお答え致します。

令和5年度の江差町へのふるさと納税額につきましては、11,905件、2億1,837万4千円となり、前年度比、前年度対比で寄附件数が4,201件の増、寄附額は8,859万円の増、率にすると68.3%の増となったところでございます。

このうち、珠洲市への災害支援の代理受領分が898件、1,266万5千円となっており、災害支援分を除くと寄附額で7,599万3千円、率にすると58.5%増となっております。

江差町と致しましては、これまで、地域特産品推進員を配置し、事業者訪問などを通じて、新たな返礼品事業者の掘り起こし、返礼品の拡大に取り組むなど、事業者との連携を強化してきました。

また、寄附者へのきめ細やかな対応により、リピーターの拡大にも取り組んできたところです。

更に、令和3年度以降は、寄附の募集を行うポータルサイトを増やし、ふるさと納税を

行う寄附者の間口の拡大に取り組むと共に、令和4年度以降ポータルサイトの広告枠などを活用しながら、江差町の返礼品がより目に入りやすいようにするなど、広告宣伝に力を入れてきたことが寄附の増額に繋がったと考えております。

引き続き、これらの取り組みの継続拡充を図りながら、ふるさと納税額の増額に向けて取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解頂きたいと思います。

なお、令和6年度につきましても、寄附額は好調のまま推移しておりまして、8月末までの状況見ますと、寄附額は6,463万3千円となっております。このうち、珠洲市への災害支援分90万5千円を除いた寄附額は6,372万8千円で、前年度対比で34.6%の増となっております。

こうした状況を踏まえまして、本定例会につきまして、おきまして、ふるさと納税の増額を見越して、返礼品や広告費、業務委託費等を含めた補正予算について、提案をさせて頂いているところでございますので、ご理解頂きたいと思います。

(議長)

西海谷議員。

「西海谷議員」

え一再質問させていただきます。

大変頑張っているという答弁でございました。えー本当に、あの一、寄附者の拡大っていうのは、これも大切な事でございますけれども、ある意味あの、リピーターを増やす、これはやはり、これから大切なこと。ま、寄附者に対してですね、どのようなフォローをしているのか、えーその辺も含めてですね、お話を頂ければと思っております。

そしてまたですね、私は、あの一江差のふるさと納税応援メッセージ読ませて頂きました。

本当に全国沢山の方々ですね、この江差を応援してきて頂いているんだと、強く感じた訳でございます。

そこでですね、私あの一ガバメントクラウドファンディング、ご存じだと思います。

えーこれを活用できないかと思っております。その上でですね、まあ、これをガバメントクラウドファンディング、ふるさと納税型クラウドファンディングとも呼ばれておりますけれども、まあ、その為には、自治体がしっかり目的を持ったプロジェクトを立ち上げなければなりません。

えー勿論、ふるさと納税増額の為にプロジェクトを立ち上げればとは、えー言っておりますが、江差を応援してくれる沢山の方々にとってもですね、ふるさと納税でより具体的に江差のまちづくりに、参加協力することになる訳でございますので、是非ですね、そのこの制度も視野に入れて、増額を目指して頂ければなと思っておりますが、その点2つ、2点お願い致します。

「まちづくり推進課長」

まちづくり推進課長。

(議長)

まちづくり推進課長。

「まちづくり推進課長」

西海谷議員からの、お一再質問にご答弁申し上げます。

ふるさと納税に関しましては、あー議員おっしゃる通り、リピーターを増やすという部分が大変重要であるというふうに考えておりまして、えー当課と致しましても、おー推進員を配置しまして、リピーターのふるさと納税をされた方々のフォローという部分を、重要というふうに考えて、対応をさせて頂いております。

具体的には、寄附をされた方々へのお礼状ですとか、そういった物の対応に加えまして、色んなコメントだとか、踏まえて色々対応するといったことも、させて頂いているところでございます。

えーいずれにしましても、あの一リピーターということも加えて、えーふるさと納税の増額に向けて、取り組んで参りたいというふうに思っております。

もう1つ、ガバメントクラウドファンディングについてのご質問でございました。

えー自治体の、おープロジェクト、おー先から、プロジェクトから寄附先等、寄附先を選ぶというのがクラウドファンディングでございまして、ふるさと納税の制度を活用しながら、実施しているものもございます。

町と致しましては、あー先程、議員おっしゃったとおり、ふるさと納税を増やすということだけでなく、町が進めている、或いは進めて行くであろうプロジェクトの財源、そういった部分も含めて、その手法の1つとして理解をしているところでございます。

ただ、あの色んな事例を見ましても、成功している例、失敗している例、それぞれございます。ただ募集すれば寄附が集まるというものでもございませんので、えーさまざまな事例なども参考にしながらですね、えー検討して参りたいというふうに考えております。

いずれにしても、江差に対して、えー応援したいと思える方の、おーその応援に答えるようなプロジェクトをきちんと作ってですね、募集をする必要があるんだろうなというふうに考えておりますので、検討させて頂ければというふうに思っておりますので、ご理解をお願い致します。

(議長)

西海谷議員。

「西海谷議員」

えー分かりました。

それでは2問目の方に移りたいと思います。

えー江差港整備計画について、2問目質問させていただきます。

ま、江差港整備につきましては、平成14年に策定した江差、江差港長期構想計画に基づいて、えー整備されております。

現在、新北、北ふ頭・中央ふ頭・南ふ頭、それぞれの機能を目的に沿って使用されております。長期構想計画後、20年以上経過する中、近年、北の江の島拠点整備構想、檜山沖洋上風力発電事業計画、更になまこ、サーモン養殖事業等々が進められており、江差港全体としての港湾機能の多様化が求められております。

改めて長期計画、長期総合、長期構想計画の見直しが必要と考えられて、考えております。江差町港湾審議会、また関係機関とどのような協議、検討をされているのか、お伺い致します。

「町長」

議長。

(議長)

町長。

「町長」

西海谷議員の2問目、江差港整備計画についてのご質問にお答えを致します。

現在の江差港整備につきましては、平成14年3月に策定した江差港長期構想計画に基づいたものとなっております。

計画で示されたゾーニングを大まかに分類しますと、新北ふ頭と北ふ頭が物流ゾーン、中央ふ頭が漁港フェリーゾーン、防災ゾーン、南ふ頭を生活観光ゾーンと整理しています。

議員ご指摘のとおり、長期構想策定から20年以上経過し、この間、時代の流れと共に、町の各種計画や国のエネルギー政策なども大きく変化し、そうした背景からも港湾機能の多様化が求められていることは事実でございます。

これまでのところ、町の計画や風力発電事業など進めるに当り、長期構想計画で定めたゾーニングに、特段支障を来たような事案は生じていない為、長期構想計画の大幅な見直しは行っておりませんが、毎年、開催している江差町港湾審議会では、北の江の島拠点施設整備基本計画や風力発電事業に係る港湾利用状況など、都度、港湾に係る事業などを議題にのせ、協議を進めているところでございますし、北海道開発局や江差、江差港湾事務所などの関係機関とも常に、情報の共有を図っているところでございます。

えーいずれに致しましても、北の江の島拠点施設整備計画や檜山沖洋上風力発電事業計画などの、長期的な事業計画も動き出している状況にありますので、情報収集に努めながら然るべき段階で、江差港長期構想計画の見直しが進められるよう、準備を進めて参りたいと考えておりますので、ご理解頂きたいと思います。

(議長)

西海谷議員。

「西海谷議員」

えー再質問させていただきます。

えー今、ご説明の通り、私は観光の視点からちょっと、えーゾーンでいきますとですね、南ふ頭でございます。えー、町長お答え頂いた通り、えー生活観光ゾーンっていうゾーンのエリアになっている訳でございます。

まあ以前からお話はありましたけれども、ここはまさにですね、国道からかもめ島へ通じる動線であります。そしてまた、その中でですね、建設要請の道の駅、そして開陽丸。

ま、非常にですね、景観上も大変重要なゾーンだと考えております。

まあ私は、この南ふ頭、早期にですね、観光という視点も、そして北の道構想含めてですね、えー早期に整備を致しましてですね、えーこの北の江の島構想をですね推進して頂きたいと思っております。

あの一、先程の説明ではですね、審議会等々で、このことを含めてですね、テーブルに上げているとおっしゃってございました。具体的にはですね、もう少し突っ込んでですね、えーどのような要望、どのような問題点があったのか、その辺を聞かせて頂ければと思っておりますので、よろしくお願い致します。

「産業振興課長」

産業振興課長。

(議長)

産業振興課長。

「産業振興課長」

えー西海谷議員の、えー再質問にお答えさせていただきます。

えーまあ、南ふ頭の観光ゾーンの部分の、えーに関するご質問でございました。

えー先程、町長も答弁致しておりますが、えーまあ、今現在あの北の江の島構想、北の江の島拠点施設整備計画の部分ですとか、洋上風力の部分の、えー、内容についても、審議会で、えーあの協議を進めて、情報共有を進めているところなんですけど、この長期構想計画の部分につきましては、また、別の、えー改正などと別の、えー委員会を設置しながら、北海道開発局ですとか、あと大学の先生とか専門的な知識を有する方々も参加して協議していくことになります。

えー、実はあの一、常々あの一北海道開発局さんですとか、港湾事務所さんと、えー情報共有を図ってる中で、そういった長期計画の見直しを進めている、あのタイミングとして、いつ頃の部分が、まあいいのかなというのを、内々にまあ相談させて貰っているんですけど、えー開発局の職員たち方々からのアドバイスとしても、やはり洋上風力の部分ですとか、北の江の島構想の、もうちょっと具体的な、えー中身が固まって来た時点でなけれ

ば、あまりそういう協議をあの一、まああまり進展、詰めたあの協議が出来ることが出来ませんので、えーまずは、審議会等まあ、担当も含めてですね、情報共有、あー情報の収集を進めて行きながら、然るべきタイミングで、そういった協議を進めて行きたいと考えておりますので、ご理解願いたいと思います。

(議長)

西海谷議員。

「西海谷議員」

終わります。

(議長)

はい。以上で、西海谷議員の一般質問を終わります。

えー１３時まで休憩致します。

休憩 １１：５８